さらに磨きをかけるべ 高度医療~かかりつけ 経営分析」 、的救済を掲げて 一に本格着手 機能を担う

関塚永

慶應義塾大学医学部客員教授国立病院機構埼玉病院名誉院長セコム医療システム株式会社顧問

の役割にさらに磨きをかけるべく、「セコムSMASH」を用いた経営分析に着手している。 うだけでなく、「全人的救済」を掲げて「安心してかかれる病院」を体現してきた。そして現在、そ 天理よろづ相談所病院は1966年の開設以来、地域のプライマリケアから高度医療までを担

地域の中核病院 「全人的救済」を掲げた

担っている。 院という機能を持 東北部にある東和医療圏の中核病 重県西部からも多く患者が来院す 他の医療圏、 など、 天理よろづ相談所病院は 開設した。715床、 6年に財団法人の認可を受 県をまたいで医療提供を さらには隣接する三 つだけでなく、 奈良県

天理よろづ相談所病院(別称・

その間、 職員 患者さんと職員500人への挨拶 暮らしの面に目を向ける「全人的 供にとどまらず、 を続けたからわかるのだが、 機構埼玉病院の院長を7年務め、 透しているという。私も国立病院 理教の教えに基づく運営方針が浸 供する」という設立母体である天 救済」を軸として運営してきた。 憩の家)は開設当初から、 の方々にも 毎朝7時半から1時間、 に安らかに憩える場を提 身体面、 「笑顔と親切を 心理面、 医療提

> 口につながることもよくある。 庭に問題を抱えていることが多 「笑顔」がもたらす効果はとても つむいて生返事ばかりする職員が 。それを察することが解決の糸 たとすれば、だいたい職場か家

と言えるだろう。同院の医師の4 「臓器別医療」にとどまらない、「全 人的救済」の理念を形にしたもの

において総合診療方式のローテイ

また同院では、レジデント制度 こちらが話しかけてもう

ト研修を40年前から続けている。

れない。 にも理念は浸透しているのかもし てきた方々というから、 分の1は同院で研修した後に戻っ 医師たち

地域医療連携の強化も進める かかりつけ医ネットワークなど

外来機能について次のように解説 橋幸男・企画準備室次長は同院の 世話どりセンター医員でもある次 総合内科医で同院の白川分院在宅 同院の特徴と言えるだろう。 来機能が充実していること

当院は40以上の診療科があります 域の診療所からのご紹介ももちろ イマリケアまで担っていますか んありますが、長年、通院されて してくれ る患者さんはたくさんいます。 外来患者さんも多いです。 た。「高度医療からプラ

てきたという側面があります」

ともあり、

そうしたニーズに応え

いない時代から運営しているこ

地域的な特性もあって専門医



次橋幸男・企画準備室次長

高橋道一・企画準備室室長

そのほかにも他病院との連携を

化は注力しているテーマの一つだ

山中宏征・医事課課長補佐

という。 診療所からの外来紹介予約機能を 診療連携医の登録を進めている。 にできるよう、 充実させたり、 け医ネットワーク」を立ち上げ、 の強化を図るなど、 ーが推進役となって地域医療連 いるのだ。 2017年に「かかりつ 患者総合支援セン 逆紹介もスムーズ 着々と手を

このような医療提供を進める同

と解説している。 タッフ同士の交流や連携の推進を 道一・企画準備室室長によると「ス 念頭に置いた「診療連携パ ・シップ」も進めている。 機能分化を進めています」 高橋

ただ、 奈良県南部になると開業

> 次橋室次長は述べておられる。 も必要になると思っています」と、 病、病診だけでなく『病病診連携』 病院との連携も模索している。「病 まっている。そうした状況を踏ま 病院のバックアップの必要性は高 医療の需要なども高まっており、 地域も出てきているという。 医の先生方の高齢化が進んでお 連携相手となる診療所がない 公立診療所や当該地域の基幹 在宅

5

決して地域の他の医療機関と

紹介率68%に達しているというか

令和2年度には紹介率46%、

逆

の連携が手薄というわけではな

。それどころか、

むしろ機能分

操作が簡単で欲し ータがすぐとれる

どの課題があったという。 とたんに時間がかかってしまうな た。ところが、「ちょっと凝った もとにしたシステムを導入してい 導入されてからはDPCデー タを借りる、アンケー 7 析」(次橋室次長) ったことから始まり、 に応じて医事課や経理課のデー たのは20年のことだ。それまで、 タの活用、分析といえば、テー 「セコムSMASH」を導入 になると、 トを採ると D P C が タを

> たちから高まっていたという。こ を知りたいという声が現場の医師

うした声にこたえるべく、「セ

ムSMASH」を用いた経営分析

は外来の現状を把握することはで

きないが、

外来の診療科別の状況

けてきた。 にも、「セコムSMASH」は適 場起点のシステム」だ。このあた 生まれたシステムで、文字通り「現 出合ったときの第一印象を教えて を瞬時に把握できるのです」と、 そのうえ病院が必要とするデ 経営分析システムに挑戦しました 佐が「セコムSMASH」を見つ していたようだ。DPC りがご評価につながったのだろう。 セコムの提携病院との二人三脚で くれた。「セコムSMASH」は と、とにかく操作が簡単でした。 つけたのです。 そこで『セコムSMASH』を見 が、正直、手を焼いていました。 外来機能が充実する同院の特性 そこへ山中宏征・医事課課長補 中課長補佐は「私も 実際に触ってみる デー - タで

天理よろづ相談所病院

1935年、天理教校よのもと会が開 設した『天理よろづ相談所』が元と なり、66年に財団法人、2011年に は公益財団法人の認可を受ける。 国内各地はもとより海外からの受 診者も含め、外来患者数は日平均



約2000人で、年間では延べ48万人。入院患者数は延べ20万人を数 え、関西地域の基幹病院の一つとしての責務も担っている。

所在地: 奈良県天理市三島町200番地

電話番号: 0743-63-5611(大代表) 病床数:641床(SCU9床、ICU15床、小児3病床20床、7対1病床587床、

職員数:1678人(医師244人、看護職705人、医療技師職306人、その 他423人) ※2021年6月1日現在

が始まった。

その詳細を次号でレ

トする。

業務の分析・改善を推進 経営幹部から病棟、 セコムSMASH」をフル活用 連携室まで

関塚永

慶應義塾大学医学部客員教授国立病院機構埼玉病院名誉院長国立場院機構埼玉病院名誉院長

早くも経営幹部だけでなく現場レベルでも活用が進んでいる。「医療マネジメントは多職種がか かわるべき」という問題意識にも応えようとしている。 天理よろづ相談所病院は2020年に病院経営情報分析システム「セコムSMASH」を導入、

セコムが

表すデ 「病院の今」を ータを届ける

床研究のように1つのテーマを設 する手法を用いていたそうだ。 とったり、台帳を用いたりと、臨 を持ち出したり、アンケー れる前から経営分析を進めてき も述べたとおり、 天理よろづ相談所病院は、 DPC導入前は経理のデー 必要なデータを集め、分析 DPCが導入さ 前回 トを

分析システムを取り入れたが、 DPC導入後は、DPCデ

> もかく、 題でした。私はかなり熱心に活用 間がかかってしまうことなどが課 た」(次橋次長) というわけではあり 析スキルを有している利用者はと しましたが、 と凝った解析をしようとすると時 内容が偏りがちになるし、 PC入院が対象になるので、 十分とは言えなかったという。「D 現場の実態を把握、分析するには 橋幸男・企画準備室次長によると、 必要な人が誰でも使える レセプトデー ませんでし ちょっ タの 分析 分

またDPCの性質として、「後追

究を行うほどの「パワーユーザー」 るにはこれらのデータは不向きだ。 院の現状をリアルタイムで把握す 日常的に手がけている。しかし、 だけに、NDBを駆使した分析も 公衆衛生を専攻し、かつレセプト研 長はもともとサブスペシャルティで だったそうだ。医師である次橋次 を把握するという点ではやや不満 い」になってしまい、病棟の「今」 には前回も述べたように外来患 さらに同院は、病院の規模のわ 病

科からも外来の状況について問い

者が多いという特徴がある。

診療

かったようだ。 分に応えるまでには至 つ 7 合わせがくることもあったが、

W

な十

看護部、連携室も活用 経営幹部、薬剤部、

ると病院が必要としているデー ですが、これは実際に操作してみ 途端に難しくなったりしていたの 込み入った分析を試みると操作が 征・医事課課長補佐は「以前のシ ステムに何度か挑戦しましたが、 の出合いがあったわけだ。山中宏 そこへ「セコムSMASH」と

ので、 務局長らが参集する運営会議に毎 る。これがクリック ライズ機能」を用いて分析してい ステムに備わっている「ファクタ 報告できるようになった。 法人の常務理事、院長、事 1つでできる

想を話す。

2020年に導入した 「時間があれば触って

今では

が瞬時に出てくるので、とても驚

きました」と最初に使った時の感

弱みを含めて病院を分析してい

いる状況」だそうで、自院の強み、

連動させて分析するという。 後の経過と単価など経営指標とを ている。電子カルテ内の紹介状の では紹介患者の「追跡」も始まっ 総合支援センターの地域医療連携 析に使ったりしている。また患者 の選定に使ったり、 医薬品への切り替えの際に候補薬 ほかにも薬剤部でジェネリック 医療・看護必要度の把握・分 タを用いて、 紹介患者の入院 看護部で重症

別の入院・外来の収支の経過と分

さらにその要因についてもシ

現在の主な活用法としては、月

利点でした」と振り返る。

すぐ使え、

説明しやすいところが

ジュアル的に見やすいし、会議で

高橋道一・企画準備室室長も「ビ

るよう改良していく予定だ。 ても「セコムSMASH」で行え 分析可能だし、 材料や薬剤など変動費については も視野に入っている。 今後のテーマとして、 人件費などについ すでに医療 原価計算

左から山中宏征・医事課課長補佐、高橋道一・企画準備室室長、

医療経営にも寄与

次橋幸男・企画準備室次長

こ の ような分析を担当する \mathcal{O}

> 次橋次長、 担っている。 で、 次長は運営会議にも出席すること 析を進めている。高橋室長、 検査技師らも加わって多角的な分 「企画準備室」だ。高橋室長以下、 が、2020年4月に設立された 病院の現状を説明する役割も 医事課、 放射線技師、 次橋

場の部門長クラスが経営にかかわ す」と語る。 単に出てくる点で、分析を知らな つながると思います」と指摘する。 ことは、病院の運営の効率化にも 指標を身近において業務に当たる は「本来、 だ少ないのが現状だが、高橋室長 る指標に触れる機会自体、 さがもたらす効果の大きさだ。 「セコムSMASH」の使いやす 補佐が口を揃えて指摘するのが .中課長補佐も「見たい情報が簡 方にも取っつきやすいと思いま 高橋室長、次橋次長、 管理職以上ならば経営 山中課長 まだま 現

V 長は「教育ツールにも使えると思 います」と言う。診療報酬体系や セプトの構造がある程度、 さらに一歩踏み込んで、 次橋次 頭に

> るので、 ジュアルで示す機能が充実してい いが、 ルがぐんと低くなる。 入っていなければ経営分析は難し 「セコム S M A S H」 はビ 分析にあたってのハ

成だ。 思います」と力説するが、私も賛 はいろいろな職種がかかわるべき コムSMASH』は活用できると ものです。その第一歩としても『セ 次橋次長は「医療マ ネジメン

回ると思っている。天理よろづ相 字を見ると俄然、 む気がなくなってしまうので、A 医長のレター せ方」さえ間違えなければうまく くる人たちが多かったので、 4用紙3 レポートがあまり分厚すぎると読 レポートを配布していたが、この を身近に感じてもらうことにいろ の院長時代、部門長に経営デー いろ心を砕いたものだ。各部長、 私自身、 ったこともした。 国立病院機構埼玉病院 4枚程度にとどめると ケースに毎月、 や また医師は数 る気が湧いて 経営 「見 タ



天理よろづ相談所病院

1935年、天理教校よのもと会が開 設した『天理よろづ相談所』が元と なり、66年に財団法人、2011年に は公益財団法人の認可を受ける。 国内各地はもとより海外からの受 診者も含め、外来患者数は日平均

※2021年6月1日現在

約2000人で、年間では延べ48万人。入院患者数は延べ20万人を数 え、関西地域の基幹病院の一つとしての責務も担っている。

所在地: 奈良県天理市三島町200番地 電話番号: 0743-63-5611(大代表)

病床数:641床(SCU9床、ICU15床、小児3病床20床、7対1病床587床 職員数:1678人(医師244人、看護職705人、医療技師職306人、その 他423人)

談所病院の今後の取り組みに注目

たい。